

太平洋工業(株)

大垣市・自動車部品、電子機器製造業

従業員数 / 男性1,977名 女性188名 計2,165名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①法を上回る制度で育児・介護との両立をサポート
- ②年12日以上の有休取得目標を設定し、休みやすい職場環境を推進
- ③勤務間インターバル制度により十分な休息時間を確保

製造業

仕事と充実した私生活との両立を支援

太平洋工業では、社員同士が支え合って仕事と私生活との両立に取り組み風土を育むため、2010年より「絆と成長」をスローガンにワークライフバランスの浸透と理解促進に力を入れてきた。

15年からは年休取得策として、1人年間12日以上を目標に掲げ、4半期ごとに取得状況を労使で確

認しフォローを行うことで、取得率の向上を推進している。また、長時間労働の削減、勤務間インターバル制度、フレックスタイトム制の活用など、柔軟な働き方も導入している。

08年から育児休業を2歳までとし、15年から育児短時間勤務を小学4年生までと順次延長するなど、支援制度も都度拡充。育休復帰者は「2歳まで育休を取得できるので、4月の入園に合わせて育休期間を選択することができ、状況に応じて復帰日を選べて助かった」と話す。

さらに「育児休業復帰支援プログラム」を設け、復帰直前に上司や人事担当者他希望の働き方などを確認し、20年には企業主導型保育園と契約するなど、円滑な職場復帰を支援。同社では、08年より女性の育休取得率は100%を継続しており、平均勤続年数も男性を上回っている。23年度には男性の育休取

得率も45%を超えるなど、男女ともに子育てと両立しながら働ける職場環境づくりに努めている。その他、社員のみならず地域の小学生を対象に、夏休み科学教室や環境教育などを開催し、幅広い次世代育成支援を行っている。



これまでの取り組みにより、2024年にプラチナくるみん認定とえるぼし認定を受けた。(認定証と社内報紹介記事を見せる担当者)



「育児休業復帰支援プログラム」の一環で育休復帰前に上司と人事担当者による面談を実施。